

農業界と経済界の連携による
先端モデル農業確立実証事業 [新規]

【250（一）百万円】

対策のポイント

農業界と経済界が連携して行う先端モデル農業の確立に向けた取組を支援し、日本農業全体への普及を図ります。

<背景/課題>

- ・我が国農業の生産性向上等を強力に進めていくためには、農業界と経済界が連携して、低コスト生産技術体系の確立、ICTを活用した効率的生産体制の構築、低コスト農業機械の開発など先端モデル農業の確立に向けた取組を進めていく必要があります。

政策目標

産業界の努力も反映して担い手の生産コストを削減

<主な内容>

農業界と経済界が連携して行う、低コスト生産技術体系の確立、ICTを活用した効率的生産体制の構築、低コスト農業機械の開発など先端モデル農業の確立に向けた取組を支援します。

具体的には、農業法人と企業等が共同で取り組む実証事業（3年以内）であって、得られた成果を他の農業者等に広く普及するものに対して、費用（資材費、人件費、機械・施設の導入、簡易な基盤整備等に係る費用等）の1/2（上限は初年度3,000万円、2・3年目はそれぞれ1,500万円）を補助します。

補助率：1/2等
事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：経営局経営政策課（03-6744-2143）]

農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証プロジェクトのスキーム

意欲のある農業法人と先端技術を有する経済界の企業等が連携して行う、低コスト生産技術体系の確立やICTを活用した効率的生産体制の構築、低コストの農業機械開発等の先端モデル農業の確立に向けた取組を支援し、その成果を地域に広く普及することにより、日本農業全体の競争力強化を図る。

